

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	さかいしていおべらいつぱんしゃだんほうじん 堺シティオペラ一般社団法人	団体ウェブサイトURL	http://sakai-city-opera.jp
代表者職・氏名			
制作団体所在地	〒 591-8037 堺市北区百舌鳥赤畑町4-256	最寄り駅(バス停)	JR 阪和線 百舌鳥駅
電話番号	072-254-1151		
ふりがな 公演団体名	さかいしていおべらいつぱんしゃだんほうじん 堺シティオペラ一般社団法人	団体ウェブサイトURL	http://sakai-city-opera.jp
代表者職・氏名	代表理事(会長) 葛村和正		
公演団体所在地	〒 591-8037 堺市北区百舌鳥赤畑町4-256	最寄り駅(バス停)	JR 阪和線 百舌鳥駅
制作団体 設立年月	1978年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事(会長) 葛村和正 代表理事(理事長) 坂口茉莉 副理事長 水谷雅男 理事 7名	代表理事2、副理事長1、理事7、監事2、評議員23、一般会員321	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名	農澤明大
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	小林敦子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1978年 市民オペラとして活動を開始 1986年 堺市民オペラ協会発足。以後毎年オペラ定期公演を上演 1989年 堺シティオペラと改称 1995年 ドイツのケム ニッツ歌劇場と『魔笛』を共同制作し、堺とケムニッツの2カ所で公演 2006年 イタリア プッチーニフェスティバル プッチーニ作曲『蝶々夫人』 日本の音楽団体として初めての共同制作公演 2009年 社会的な信用を更に深め責任ある団体としてオペラを通じ、音楽芸術の普及・向上をはかり地域の芸術文化発展に寄与していくことを目標にかかげて法律に準拠した非営利の法人格を取得 2013年 オーストリア ウィーン公演(共同公演)「日本のオペラ&狂言コンサート」 林 光 作曲『おこんじょうり』 2019年 オーストリア 日本・ウィーン国交150周年記念コンサート Juhu 2021年 大阪文化祭賞受賞 (オペラ『アイーダ』) 2022年 大阪文化祭賞受賞 (オペラ『トゥーランドット』)</p>					
<p>学校等における公演実績</p>	<p><u>文化庁巡回公演事業</u> 2020年度(巡回公演 6公演)、2021年度(巡回公演 9公演)、2022年度(巡回公演 11公演予定) <u>堺市文化振興財団 さかいミーツアート事業</u> 2019年度(3公演)、2020年度(3公演)、2021年度(2公演)、2022年度(2公演予定) <u>堺市文化振興財団 さかいアートスクール事業</u> 2016年度(1公演)、2017年度(1公演)、2018年度(3公演) <u>堺市舞台芸術体験による被災地支援事業</u> 2016年度(3公演)、2017年度(3公演) <u>小学校芸術鑑賞オペラ</u> 2015年度(1公演)、2017年度(1公演)、2018年度(1公演)、2019年度(2公演)</p>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>						
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/sgPLLvSHRww</p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="943 1809 1018 1850">ID:</td> <td data-bbox="1018 1809 1445 1850"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="943 1850 1018 1888">PW:</td> <td data-bbox="1018 1850 1445 1888"></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 堺シティオペラ一般社団法人】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	オペラ『おこんじょうり』 ～堺シティオペラオリジナルバージョン～			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オペラ「おこんじょうり」～堺シティオペラオリジナルバージョン～</p> <p>原作:さねとうあきら 作曲:林光 演出:茂山 千三郎 演出補助/構成:坂口 茉里</p> <p>《あらすじ》 ■昔ある村に、ひとりぼっちで目の見えない病気のいたこばさまがいた。その家に腹をすかせた“おこん”というお腹をすかせた子ぎつねが餌を盗みに忍び込んだ。だが、ばばさまは、じっさからもったなけなしのお弁当まで食べさせた。きつねは感謝し、じょうりの念力で、ばばさまの病気を治してやった。それから二人は助け合って暮らし始めた。ばばさまはおこんのじょうりに合わせて口を開け、ばばさまが語っているように見せかけた。ばばさまの神通力がうわさとなり、お姫様の命を救った。そして殿様から褒美をいただいた。その帰り道、盗賊に襲われ、おこんはばばさまの身代わりとなって死んでゆく・・・ ■寂しいもの同士が、運命的な出会いにより一時幸せな暮らしを送るが、最後は悲劇的な結末でありながら、心温まる感動的な結末の物語。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 50 分</p>			
著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	<p>オペラ「おこんじょうり」 原作:さねとうあきら創作民話絵本 作曲:林光</p> <p>《セールスポイント》 ヨーロッパで生まれたオペラが本来のルーツになりますが、日本に伝わる民話を基に日本人の作曲した1幕仕立ての切なくも愉快で感動的な邦人作品。演奏時間は50分で完結するが、堺シティオリジナルでは、過去のウィーン公演で取り入れた林光 Song より数曲(子どもたちのなじみやすい曲)をオペラが始まる前に合唱し、オペラの導入とします。日本では、オペラは西洋貴族の娯楽として認識されていて敷居が高く、一般の家庭では子ども達あまり体験する機会がないことが現状です。この演目では、日本の物語をベースにオペラとして作曲された邦人作品があることを紹介します。</p>			
演目選択理由	<p>オペラ「おこんじょうり」は、日本を代表する作曲家の一人である林光氏が作曲しました。日本のクラシック音楽と古典芸能芸術を子どもたちにも知ってもらいたく、こちらの演目を選択いたしました。オペラを通じて日本人の持つ“和”の心や日本の古くから伝わる独自の文化を子どもたちに紹介していきたいと考えております。</p> <p>オペラは音楽、文学(台本)、演劇(演出)、美術(舞台美術や衣装)、舞踏など複数の分野の芸術の混在によって創造される一つの統一された総合芸術であり、一度に様々な分野の芸術に触れ合う事が出来る芸術媒介です。しかし、オペラに対して人々が持っている敷居の高さが邪魔をして、なかなか社会に浸透する事が出来ません。「おこんじょうり」は日本の創作民話をベースにしており子どもたちも馴染みがやすい作品です。また、昔話という事もあり日本の伝統的な物がステージの上で息吹を吹き込まれ歌と演劇を通して現実に存在するものとなります。プロの歌手、演奏家、スタッフで作上げるステージを子ども達と同じ場所で体験して自分の感覚として捉えてもらいます。また、ワークショップを通して人間の持つ声の魅力を理解することによって舞台上での物語を更に楽しむことを学びます。生のオペラ公演を目の当たりに見ることで、芸術に携わる様々な仕事の存在も知ることができます。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>専門的なトレーニングを積んでいない子ども達でも気兼ねなく“歌”を通してオペラ公演に参加していただけます。難しい演技や歌唱を求められる事はなく、事前のワークショップを通して歌を覚えていただき、当日の舞台に於いて発表していただく形になります。(新型コロナウイルス感染症対策のため、鑑賞している位置から動かずに歌で参加出来る形を取ることも可能です。事前相談の時に参加のスタイルを決めて頂きます。)</p> <p>公演直前には鑑賞しているだけの子ども達も、見ている席で参加できるように、簡単な合唱指導を公演に先立って行い、演奏中に全校生徒でキャストの演唱と共に歌います。</p>			
出演者	<p>【登場人物】</p> <p>こぎつね おこん(ソプラノ) 高嶋 優羽 イタコの ばばさま(メゾ・ソプラノ) 井上 美和 馬子の ごんすけ(テノール) 孫 勇太 狐師の じんざ(バリトン) 榎 貴志 指揮者:坂口 尚平 ピアノ:尾上理絵</p>			

本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 6 名 スタッフ: 11 名 合 計: 17 名	運搬	積載量: 3 t 車 長: 7 m 台 数: 1 台
---	-------------------------------------	-----------	----------------------------------

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間	3 時間程度		
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時	13時30分～14時30分	なし	15時～16時	16時

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決 定後に確認します。(大幅な変更は認 められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	10日	10日	10日	10日	10日		
	11月	12月	1月	計			80日
	10日	10日	10日	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	
		鑑賞人数目安	～ 600名程度



公演に係るビジュアルイメージ
 (舞台の規模や演出や
 がわかる写真)

※採択決定後、採
 択団体へ図面等詳
 細の提出をお願い

【公演団体名 堺シティオペラ一般社団法人】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	何人でも可能
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>主指導者、ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バリトン/バスの歌手 4 名、ピアニストの合計6名で訪校</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆オペラ作品を創り上げる工程をパワーポイントによるプレゼンテーションで紹介。 ◆和物所作指導。 ◆日本語の歌詞の扱い方の指導。オペラ歌手による発声練習や身体の使い方の指導を通して、自信を持った自己表現が出来る基礎を学んで頂きます。使用する曲は林光のソングを使用予定です。(コロナ対策で舞台上での共演が難しい場合は、校歌や愛唱歌などを使って上記の指導を行います。事前相談で決めて頂きます。) 		
ワークショップの ねらい	<p>通常の学校音楽鑑賞教室などでは観客として公演を観て鑑賞することになり、受動的なコンサート体験になってしまいがちです。しかし、ワークショップでの実践的な経験を通して実際の公演に出演者として関わってもらいます。それによって、この公演に自ら積極的に携わっているという感覚を実感し、そのコンサート体験が子ども達にとって能動的なものになることを狙います。プロの歌手や音楽スタッフと共に制作プロセスを体験し、交流することにより、このような職種がある事を認識してもらい将来のキャリアに対する視野を広げられることも目的とします。ワークショップ体験を通して異文化や自分と異なる考えやアイデンティティを受け入れられる心を育てる機会となることを望んでいます。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>日本語によるオリジナルな邦人作品を紹介することの意義を強く感じます。公演の前のワークショップで美しい日本語を体験してもらえることが、日本の芸術文化の継承に繋がって欲しい。</p>		